

# 国連キプロス平和維持隊

United Nations Peacekeeping Force in Cyprus (UNFICYP)

《 概 要 》

2024年10月

1 設立年月	1964年3月
2 設立決議	安保理決議第186号(1964年)
3 展開場所	キプロス
4 本部所在地	ニコシア(首都)
5 事務総長特別代表	コリン・スチュワート(カナダ)
軍事司令官	エルデネバット・バツウリ(モンゴル)
6 活動期限	2025年1月31日 (安保理決議第2723号(2024年))
7 予算	約5,368万ドル(2024年7月～2025年6月)
8 経緯	



- (1) 1960年、キプロスは英国からキプロス共和国として独立したが、国内でギリシャ系住民とトルコ系住民の対立は続き、1963年12月に暴力を伴う衝突が発生。翌年3月、安保理は決議第186号を採択し、国際の平和と安定を維持する観点から、衝突の再発防止、法秩序の維持・回復及び常態に復するための支援を目的とする国連キプロス平和維持隊(UNFICYP)を設立。
- (2) 1974年7月、ギリシャ軍事政権の支持を得たギリシャ系住民がクーデターを企図したのを機に、トルコ軍がトルコ系住民の保護を名目に侵攻、キプロス北部を占領。
- (3) 同月、安保理は決議第353号を採択し、全当事者間の戦闘行為の停止、外国部隊によるキプロスへの介入の即時中止を要請すると共に、ギリシャ、トルコ及び英国に対して平和の回復に向けて直ちに交渉することを求めた。翌8月、事実上の停戦が成立したことを受け、UNFICYPはあらゆる軍事的活動に対する監視を開始。以降、安保理等による一連の決議採択を通じて、UNFICYPはマンデートを更新。
- (4) 2015年5月以降、国連の仲介によりギリシャ系とトルコ系との間で集中的に和平交渉が行われ、2017年には初めて両系代表に保障国(ギリシャ、トルコ、英国)を加えた多国間会合が開催された。同年7月の会合にはグテーレス国連事務総長も参加し、両系代表に働きかけたが、和平合意に至らず、以後交渉が中断。
- (5) 2017年11月、UNFICYPの戦略レビューが行われ、国連事務総長から安保理に対し、武力衝突の再発防止のための現在の能力を維持しつつも、監視、連絡調整及び関与能力を拡大するよう勧告。2018年1月のマンデート延長決議において、同レビューは支持され、全体の規模を変更することなく更新された。2018年7月のマンデート延長決議は、ミッションの連絡調整及び関与能力の拡大に向けた支援を表明するとともに、女性要員の増加を要請。
- (6) 2024年1月安保理は決議第2723号を採択し、UNFICYPのマンデートを2025年1月31日まで延長することを決定。

## 9 任務

- (1) 停戦ライン及び緩衝地帯の監視並びに武力衝突の再発防止
- (2) 法秩序の維持・回復
- (3) 正常な状態への復帰のための支援
- (4) 人道的活動

## 10 派遣規模

- (1) 軍事・警察要員(計866名) ※2024年7月31日時点

- ・警察要員(個人):67名      ・警察部隊要員:0名
- ・軍事要員(個人):0名      ・軍事部隊要員:745名      ・司令部要員:54名
- (2)文民要員(計153名) ※2024年7月時点
- ・国際文民要員:40名      ・現地文民要員:113名

(3)国連ボランティア(計0名) ※2024年7月31日時点

11 要員派遣国 ※2023年9月30日時点

アルゼンチン、英国、スロバキア、アイルランド、ハンガリーなど計26か国

( 詳 細 : 国 連 DPO 要 員 派 遣 国 統 計

[https://peacekeeping.un.org/sites/default/files/04\\_country\\_contributions\\_detailed\\_by\\_mission\\_july\\_2024.pdf](https://peacekeeping.un.org/sites/default/files/04_country_contributions_detailed_by_mission_july_2024.pdf))

12 犠牲者数 ※2024年8月31日時点

183名(事故:99名、病気:46名、悪意ある行為:15名、その他:23名)

(参照:国連 DPO UNFICYPウェブサイト <https://unficyp.unmissions.org/>)